

関係者のみなさんへ

泥田バレーボール大会“最終回”のお知らせ

平成元年に竹馬会が全国で初めて開催した「泥田バレーボール大会」も今年で25年を迎えることになりました。

一地域のグループによる手作りのイベントが四半世紀に亘り開催できましたのも、毎年多くの参加を頂いたチームの皆さんはもちろんのこと、会場設営などにご協力を頂いた地元企業の方々、大会を支えてくださった佐知地区のみなさん、毎年大きく取り上げてくださったマスコミ関係の方々、等々多くの皆様方のご支援、ご協力があったのことに、あらためて感謝申し上げます。

正直ここまで続く大きなイベントになるとは思っていませんでした。過去にも第5回大会で終了宣言をしたものの、翌年にテレビで全国放送が企画されたことから、終了宣言を取り消し第6回大会を開催することになり、全国的に人気と注目を集め、現在では同種の大会が全国各地で開催されるようになりました。そのため「元祖竹馬会の泥田バレー」としてはやめる訳にはいかなくなり、10回、15回と続けてまいりました。この間、北海道深川市、広島県呉市、島根県平田市（現出雲市）などをはじめ、全国各地のみなさんとも交流をすることができました。

その後、平成17年の中津市との合併の時に、第17回大会で終わりにしようという話が出てから、毎年のようにいつやめようかと話し合ってきましたが、20回を超え、21回、22回と何とかこれまで続けてきました。しかし、ここ数年は、25回が一つの区切りであろうと言う声が大きくなりました。あれから25年、竹馬会のメンバーも全員が25年の歳を重ね、最高齢者は今年80歳になります。「参加チームが無くなるまで自分達からはやめるとは言いまい」と言っていた時期もありましたが、竹馬会のスタッフも歳には勝てず、体力の限界を感じ始めています。

また、当初の目的であった地域の活性化というイベントによる地域づくり活動の在り方も時代の流れと共に変わってきました。これからは少子高齢化が進む地域を、自分たちの手でいかに守っていくかということを、真剣に考えなければなりません。

加えて、会場となる水田が本来の農地の役割を果たせず、農家の方にも大変なご迷惑を掛け続けています。こうした様々な状況から、今年の第25回大会をもって泥田バレーボール大会を終了することにしました。

“最後”の大会を大いに盛り上げるため、“最後”の力を振り絞って準備と当日の運営を行いますので、“最後”の大会にご参加くださいますようご案内申し上げます。

平成25年4月吉日

竹馬会 会員一同